

スポーツに関する市民意識調査 調査結果報告書

平成 28 年 1 月

生 駒 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果のまとめと今後の課題	2
1	「生駒市スポーツ振興基本計画」における目標値に対する現状	2
2	調査結果の分析	2
III	調査結果	6
1	回答者属性	6
2	現在の運動やスポーツの実施状況について	8
3	今後の運動やスポーツに対する意向について	24
4	公共スポーツ施設について	45
5	子どもの運動やスポーツについて	48
6	高齢者と障がい者のスポーツについて	54
7	総合型地域スポーツクラブについて	57
8	市・市教育委員会の施策・事業について	61
9	自由意見	75
IV	調査票	81

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「生駒市スポーツ振興基本計画」の中間見直しに際し、市民の健康や運動・スポーツについての現状と意見をスポーツ振興に関する取組方針等に反映し、計画の実現に役立てるため、実施しました。

2 調査対象

- ・対象者：生駒市在住の20歳以上の市民（住民基本台帳から層化無作為抽出）
- ・対象数：3,000人

3 調査期間

- ・配布開始：平成27年10月22日
- ・回答期限：平成27年11月12日（平成27年12月16日までの返却分を対象とした。）


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,631通	54.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く。）
- ・前回調査については、生駒市スポーツに関する市民意識調査報告書（平成21年3月）より記載しています。

II 調査結果のまとめと今後の課題

1 「生駒市スポーツ振興基本計画」における目標値に対する現状

指標名	計画策定時 (平成 20 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
週に1回以上運動・スポーツを行う人 (20 歳以上)の割合	40.8%	42.8%	50.0%
週に1回以上運動・スポーツを行う 子ども(小学生)の割合	64.2%	65.8%	80.0%

「生駒市スポーツ振興基本計画」において掲げられている 2 項目の目標値に対する現状値は、それぞれ上昇しているものの、このままの上昇率では平成 32 年度目標を達成できないことが予想されることから、目標達成に向けて基本計画に掲げられた取組をさらに推進していくことが必要です。

2 調査結果の分析

(1) 現在の運動やスポーツの実施状況について

運動やスポーツが好きという人の割合が約 8 割 (81.1%) となっているものの、運動やスポーツを週 1 回以上している人の割合が平成 20 年度調査と比べて横ばいとなっています。

年代別にみると、20 歳代、30 歳代では、運動やスポーツを週 1 回以上している人の割合が 3 割 (20 歳代:24.8%、30 歳代:27.6%) を下回っている一方、60 歳以上では 5 割 (60 歳代:52%、70 歳以上:52.8%) を超えています。職業別にみると、就労している (パート・アルバイト等含む) では、運動やスポーツを週 1 回以上している人の割合が 3 割半ば (35.5%) と低くなっています。

スポーツを行う理由については、20 歳代で「スポーツが好き、楽しい」、30 歳代で「気分転換、ストレス解消」、40 歳以上では年代が高くなるにつれ「健康維持、増進」の割合が高くなる傾向となっています。性別にみると、男性で「スポーツが好き、楽しい」、女性で「美容、ダイエット」の割合が高くなっています。

スポーツをしていない人の理由については、年代別にみると、20 歳代から 50 歳代で「仕事や家事、育児等で時間がない」の割合が約 6 割、「きっかけや機会がない」の割合が約 5 割、70 歳以上で「体力の衰え」の割合が 5 割半ば (53.1%) と高くなっています。

スポーツをしている時間帯については、「平日の午前中」「平日の午後」の割合が約 3 割 (「平日の午前中」:33.8%、「平日の午後」:30.7%) となっています。年代別にみると、20 歳代から 40 歳代では「休日の午前中」「休日の午後」「平日の夜」の割合が高く、60 歳以上では「平日の午前中」が 4 割 (60 歳代:40.6%、70 歳以上:42.7%) を超えています。職業別にみると、就労している (パート・アルバイト等を含む) 人の「平日の夜」の割合が約 3 割 (29.1%) と高くなっています。

こうした現状を踏まえ、仕事や家事・育児のため時間がなく運動やスポーツに参加できない若い世代でも、気軽に、多様な時間帯で、好きなスポーツができる環境づくりが必要です。

(2) 今後の運動やスポーツに対する意向について

運動やスポーツを「今後、始めてみたい」の割合が2割半ば(24.7%)となっています。性別にみると、男性に比べて女性で、年代別にみると、20歳代から50歳代で運動やスポーツを「今後、始めてみたい」の割合が高くなっており、3割を超えています。運動の頻度別にみると、現在全く運動やスポーツをしていない人の中でも、「今後、始めてみたい」の割合が5割(52.0%)を超えています。

今後、やってみたいスポーツについては、「ウォーキング(散歩含む)」の割合が約4割(39.4%)、「ヨガ・ピラティス」の割合が約2割(22.4%)となっています。性別にみると、男性で「ジョギング・マラソン」「筋力トレーニング」、女性で「ヨガ・ピラティス」の割合が高くなっています。

各世代共通してウォーキングのニーズが高く、女性ではヨガ・ピラティスのニーズが高くなっており、それぞれの性別・ライフステージに応じた機会の提供が必要です。

また、運動やスポーツをしていない人の中で、今後運動やスポーツを実施したい人が多いことから、運動やスポーツをするよう促すため、上記(1)と同様に、気軽に運動やスポーツができる環境づくりが必要です。

(3) 公共スポーツ施設について

運動やスポーツを行っている場所については、「民間のスポーツ施設」「道路や空き地」の割合が約3割(「民間のスポーツ施設」:33.3%、「道路や空き地」:32.1%)、「市の公共スポーツ施設」の割合が約2割(20.4%)となっています。今後の施設の利用意向については「市の公共スポーツ施設」の割合が高く、6割(60.6%)を超えています。

市の公共スポーツ施設に満足していない理由として、「施設が足りない」の割合が4割半ば(44.5%)と高く、「利用手続きに不満がある」「施設の設備が不十分」の割合が2割(「利用手続きに不満がある」:22.0%、「施設の設備が不十分」:20.9%)を超えています。

どのような点が変われば、より運動やスポーツを行うようになるかについては、「近所など通いやすい場所ができれば」の割合が5割近く(47.9%)、「利用料金、参加料金が安くなれば」の割合が3割半ば(35.3%)、「一人で気軽にできれば」の割合が3割(31.5%)を超えています。また、施設に望むこととして「身近で利用できるよう、施設数の増加」の割合が4割近く(37.2%)となっています。

生駒市で実施している学校体育施設の開放の認知度については、「知っている」の割合が約3割(30.9%)となっています。今後、運動やスポーツの実施意向がある人で、学校体育施設の開放について「知らない」の割合が6割を超えています。また、運動やスポーツの実施意向がある人で学校体育施設の開放を利用したい人の割合が高く、特に「今行っている運動やスポーツを続けながら、別のスポーツもやってみたい」での利用意向が8割半ば(85.5%)、「今後、始めてみたい」で7割半ば(75.9%)となっています。

市民が身近な地域でスポーツができる環境を整えるとともに、スポーツ施設が利用しやすい体制の整備が求められます。また、市の公共スポーツ施設の充実に加え、学校体育施設の利用を含め、気軽に利用できる施設運営が必要です。

(4) 子どもの運動やスポーツについて

運動やスポーツを週1回以上している子どもの割合が幼児で34.9%、小学生で65.8%、中学生で65.4%となっています。

運動やスポーツを実施している場所については、幼児・小学生では「競技別の専門クラブ・スクール」の割合が約6割（幼児:58.0%、小学生:62.4%）、中学生では「学校部活動」の割合が約8割（79.4%）となっています。

子どもたちの体力低下が問題とされる中、学校や地域と連携しながら幼児、小・中学生の時代に、スポーツへの苦手意識を形成しない環境づくりや身体を動かすことの楽しさにふれる機会を増やしていく必要があります。

また、子どもが多様なスポーツに取り組めるよう、地域のスポーツ少年団、専門クラブ・スクール、各競技団体、総合型地域スポーツクラブ等が連携し、地域の子どもの多様なスポーツの機会を提供し、スポーツが好きな子どもを育てていくことが必要です。

(5) 高齢者と障がい者のスポーツについて

高齢者の運動やスポーツの実施状況をみると、週に3日以上運動をする高齢者が多い一方、「体力の衰え」等を理由に運動をしていない高齢者の割合が高くなっています。

高齢者が運動やスポーツを行う理由については、「健康維持、増進」や「老化防止」の割合が高くなっています。今後、やってみたいスポーツについては、「ウォーキング（散歩含む）」の割合が5割近くとなっています。

高齢者がよりスポーツに親しむために、「地域で行われている高齢者向けのスポーツ情報を知らせたらよい」の割合が60歳代以上で高くなっています。

高齢者のスポーツは、「健康維持」に加え、「生きがいづくり」「仲間づくり」という側面があります。それぞれの魅力を伝え、スポーツをしない層に運動やスポーツをするよう働きかけていくことが必要です。

高齢者一人ひとりの体力・能力水準にあった適切なメニューや運動量について指導を受けられる仕組みづくり、体力的・技術的な障壁が低い運動に触れる機会を増やすことにより、気軽に運動やスポーツを行えるような仕組みも求められます。

障がい者がスポーツを行う環境について、「わからない」の割合が7割半ばとなっており、「わからない」を除くと、「不足している」の割合が6割半ばとなっています。

障がいのある人も、障がいのない人と同じように身近な地域で気軽に運動やスポーツを楽しめるような環境づくりが必要です。

(6) 総合型地域スポーツクラブについて

総合型地域スポーツクラブの認知度をみると、「知らない」の割合が9割(92.4%)を超えています。

どのような運営方法であれば参加したいかについて、「身近な場所で開催されるもの」の割合が5割近く(47.6%)、「競技ではなく、楽しく気軽に参加できるもの」の割合が4割半ば(44.1%)、「無料または安価で参加できるもの」の割合が3割半ば(34.2%)となっています。

「多世代・多種目・多志向」を特徴とする「総合型地域スポーツクラブ」の魅力を最大限に活かすため、クラブの一層の周知を図り、拡充していくことが必要です。

(7) 市・市教育委員会の施策・事業について

市や市教育委員会が主催のスポーツ大会やスポーツ教室の認知度について、「知っている」よりも「知らない」の割合が高くなっており、前回調査と比較すると「知らない」の割合が高くなっています。

知っている人の中で参加経験がある人の割合が約5割(49.4%)となっており、前回調査と比較すると高くなっています。

今後どのような内容であれば参加したいかについて、各年代を通して「競技ではなく、誰もが参加できるレクリエーション的なイベント」の割合が約2割、若い世代で「初心者のためのイベント」の割合が約2割、60歳以上で「健康増進のためのイベント」の割合が高く約4割となっています。

スポーツ、健康に関する広報や情報提供回数について、「もっと情報提供を行って欲しい」の割合が5割半ば(53.8%)となっています。特に、新たなスポーツを行いたいと考えている人で、「もっと情報提供を行って欲しい」の割合が高く、約7割となっています。

子どもから高齢者までのだれもが参加し、楽しむことができるよう、各ライフステージに対応したイベントを開催するとともに、ライフステージに特化したイベントも開催し、効果的な事業をしていくことが必要です。

また、生駒市のスポーツを推進するため、運動やスポーツに関心のない人への周知・啓発はもちろんのこと、関心がある人への効果的な情報提供も必要です。

運動やスポーツを行う意向がある人の中で、指導してくれる人が必要という人が7割半ばとなっていますが、市の実施している事業「スポーツリーダーバンク制度」の認知度が1.9%となっています。競技スポーツ・生涯スポーツ・高齢者スポーツ・障がい者スポーツなど、様々な分野での指導者の確保が必要となっており、人材の育成や制度の周知・啓発も必要です。

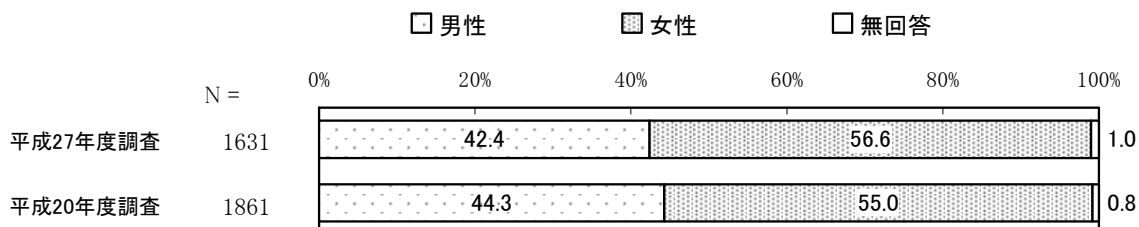
今後の市のスポーツ振興に力を入れるべきことについては、「高齢者の健康と交流の場づくり」が約4割(39.2%)、「公共スポーツ施設の整備」と「子どもたちの体力向上」が3割半ば(「公共スポーツ施設の整備」:36.0%、「子どもたちの体力向上」:35.3%)となっており、高齢者に対するスポーツ施策や子どもたちの体力向上につながる事業が求められています。

Ⅲ 調査結果

1 回答者属性

F 1. あなたの性別は。

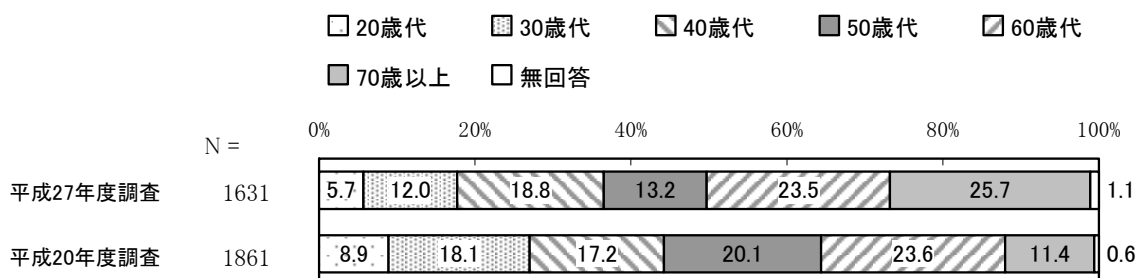
「男性」の割合が42.4%、「女性」の割合が56.6%となっています。
平成20年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



F 2. あなたの年齢は。(〇は1つ)

「70歳以上」の割合が25.7%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が23.5%、「40歳代」の割合が18.8%となっています。

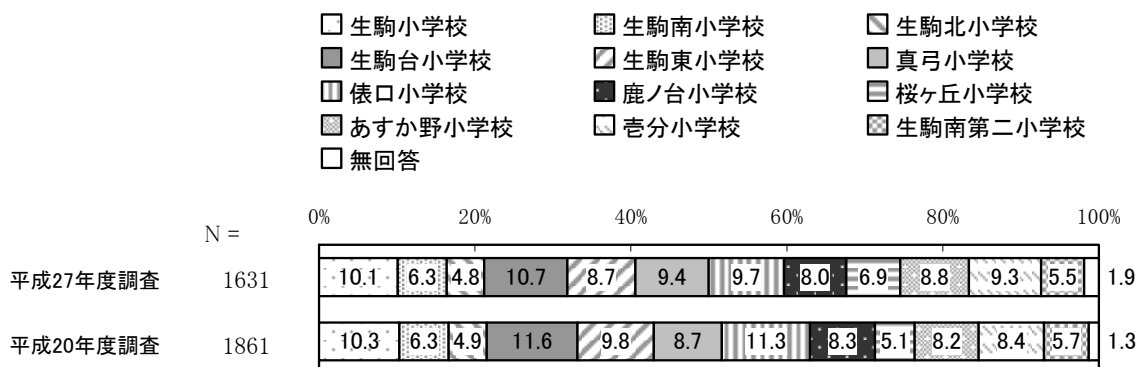
平成20年度調査と比較すると、「70歳以上」の割合が高く、「30歳代」「50歳代」の割合が低くなっています。



F 3. あなたのお住まいは。(町名をご記入ください)

「生駒台小学校」の割合が10.7%と最も高く、次いで「生駒小学校」の割合が10.1%、「俵口小学校」の割合が9.7%となっています。

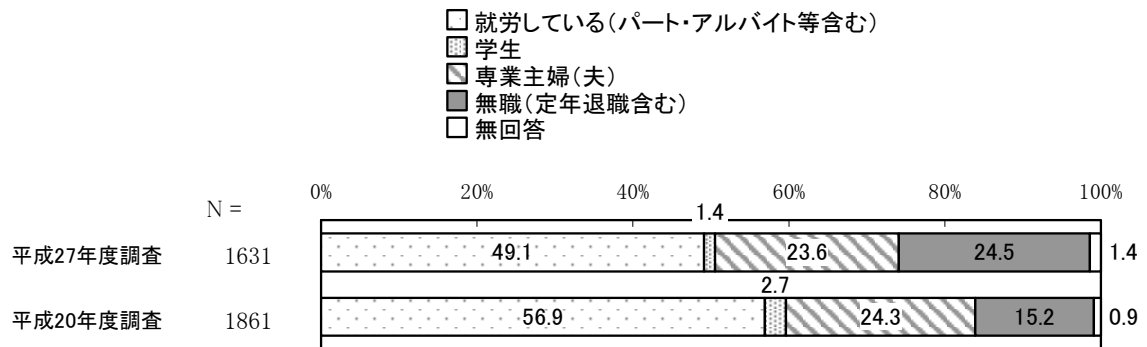
平成20年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



F 4. 現在のあなたは。(〇は1つ)

「就労している（パート・アルバイト等含む）」の割合が49.1%と最も高く、次いで「無職（定年退職含む）」の割合が24.5%、「専業主婦（夫）」の割合が23.6%となっています。

平成20年度調査と比較すると、「無職（定年退職含む）」の割合が高く、「就労している（パート・アルバイト等含む）」の割合が低くなっています。



2 現在の運動やスポーツの実施状況について

問1 運動やスポーツ（観戦も含む）は好きですか。嫌いな方はその理由もお答えください。（○は1つ）

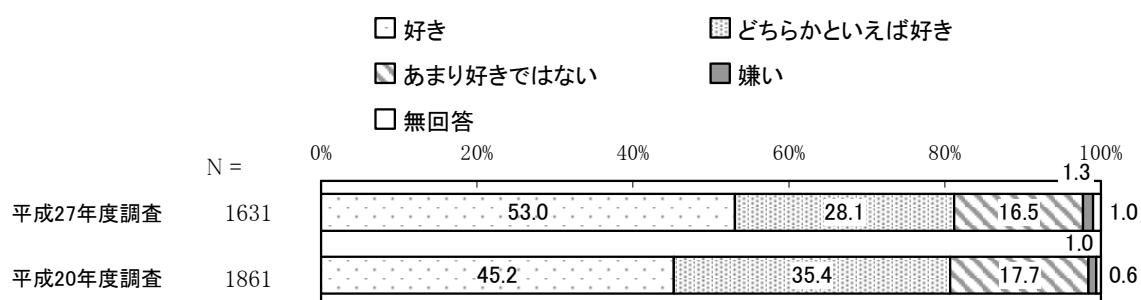
「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が81.1%、「あまり好きではない」と「嫌い」をあわせた“好きではない”の割合が17.8%となっています。

平成20年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

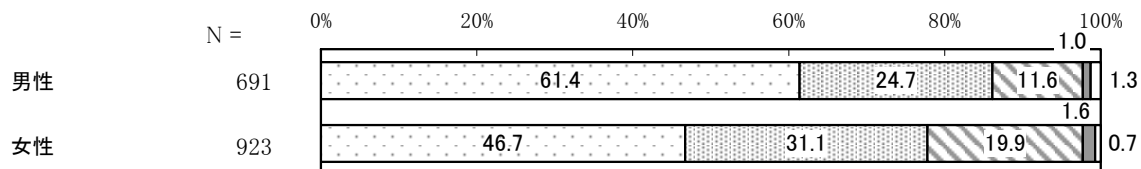
性別でみると、女性に比べ男性で“好き”の割合が高くなっています。一方、女性で“好きではない”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他に比べ20歳代で“好きではない”の割合が高くなっています。

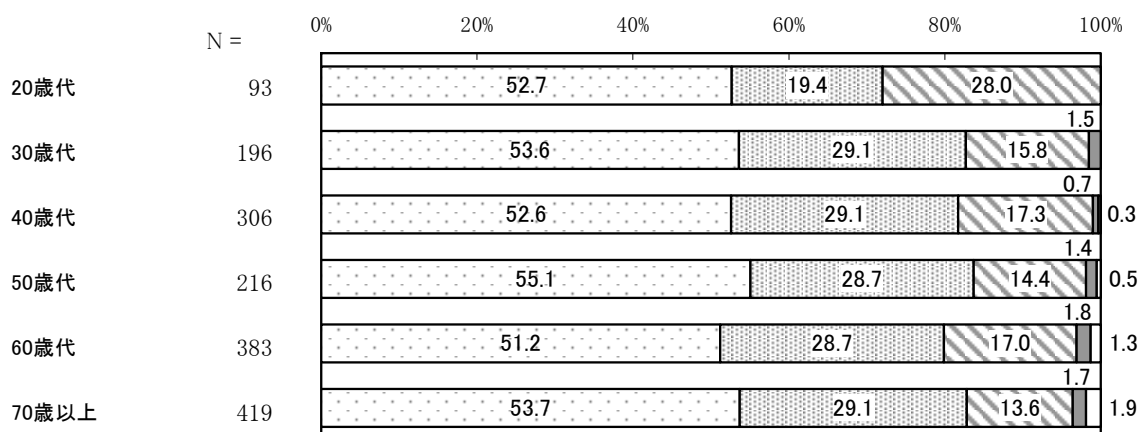
「嫌い」という人の理由としては“運動が苦手”、“楽しくない”、“疲れた”といった内容の記述がみられます。



【性別】



【年代別】



問2 ふだん運動やスポーツをどの程度していますか。(〇は1つ)

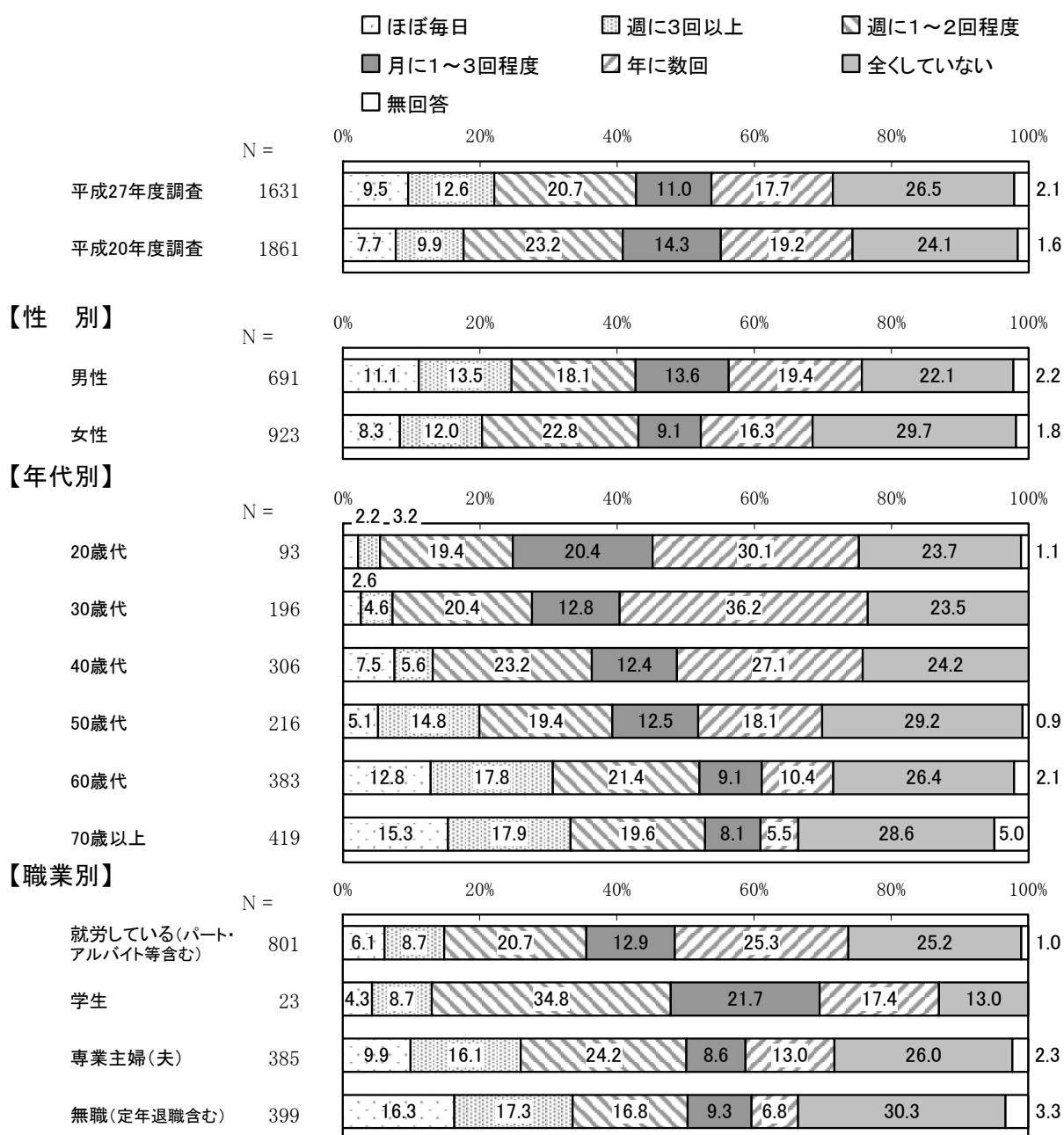
「全くしていない」の割合が26.5%と最も高く、次いで「週に1～2回程度」の割合が20.7%、「年に数回」の割合が17.7%となっています。

平成20年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性に比べ女性で「全くしていない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ほぼ毎日」「週に3回以上」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ就労している（パート・アルバイト等含む）で「年に数回」の割合が、無職（定年退職含む）で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



【問2で「5. 年に数回」「6. 全くしていない」と回答した方にうかがいます。】

問3 運動やスポーツをあまりしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「仕事や家事、育児等で時間がない」の割合が45.2%と最も高く、次いで「きっかけや機会がない」の割合が37.3%、「体力の衰え」の割合が21.5%となっています。

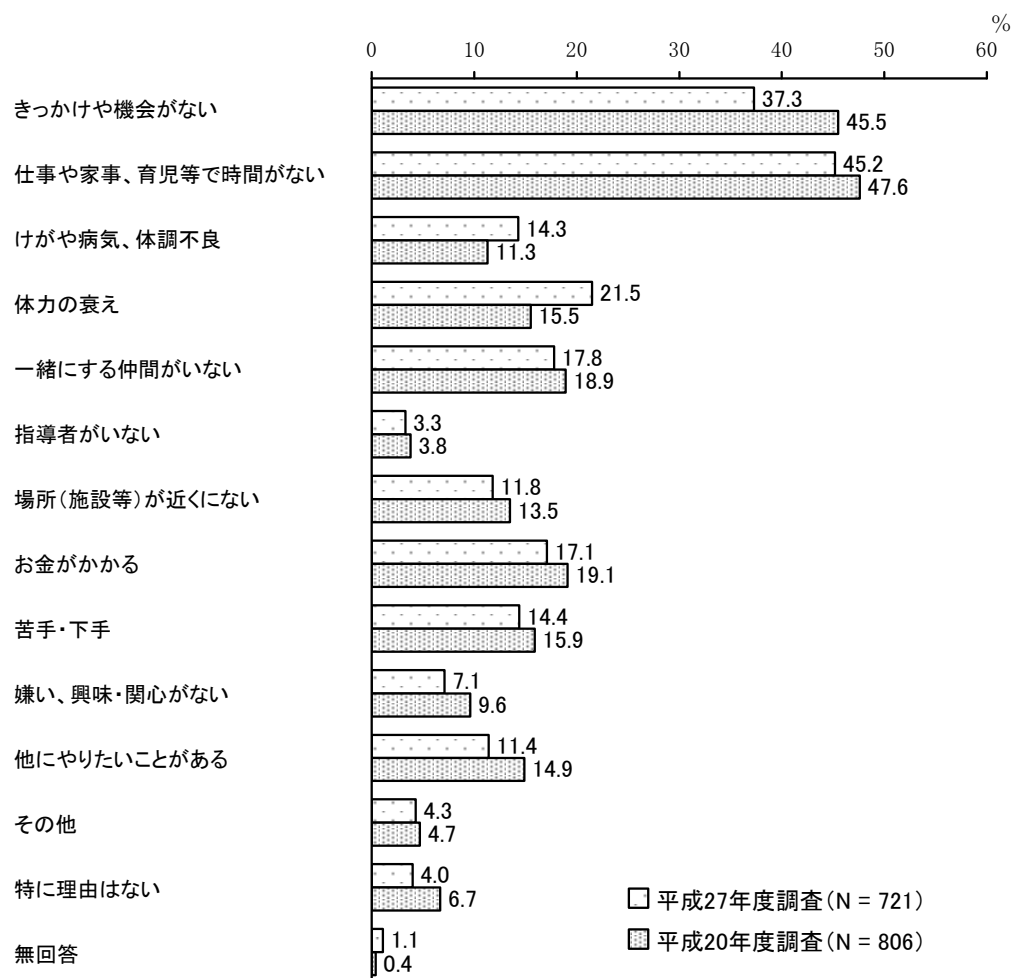
平成20年度調査と比較すると、「体力の衰え」の割合が高く、「きっかけや機会がない」の割合が低くなっています。

性別で見ると、女性に比べ男性で「体力の衰え」の割合が高くなっています。

年代別で見ると、年代が高くなるにつれ「体力の衰え」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれ「仕事や家事、育児等で時間がない」の割合が高くなる傾向がみられます。

職業別で見ると、他に比べ就労している（パート・アルバイト等含む）で「きっかけや機会がない」「仕事や家事、育児等で時間がない」「お金がかかる」の割合が高くなっています。また、無職（定年退職含む）で「けがや病気、体調不良」「体力の衰え」の割合が高くなっています。

「その他」の意見としては、“時間に余裕がない”、“疲れがたまりすぎて、運動をする時間があれば身体を休めたい”、“怠慢”といった内容の記述がみられます。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	きつかけや機会がない	仕事や家事、育児等で 時間がない	けがや病気、体調不良	体力の衰え	一緒にする仲間がいな い	指導者がいない	場所(施設等)が近くに ない	お金がかかる	苦手・下手	嫌い、興味・関心がな い	他にやりたいことがあ る	その他	特に理由はない	無回答
男性	287	39.0	42.5	13.9	24.7	18.5	3.5	11.8	15.0	12.2	7.0	12.5	3.1	6.3	0.3
女性	424	36.6	47.4	14.6	19.6	17.7	3.3	12.0	18.9	16.3	7.1	10.4	5.0	2.6	1.4

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	きつかけや機会がない	仕事や家事、育児等で 時間がない	けがや病気、体調不良	体力の衰え	一緒にする仲間がいな い	指導者がいない	場所(施設等)が近くに ない	お金がかかる	苦手・下手	嫌い、興味・関心がな い	他にやりたいことがあ る	その他	特に理由はない	無回答
20歳代	50	58.0	66.0	2.0	6.0	32.0	4.0	20.0	22.0	34.0	14.0	16.0	8.0	2.0	—
30歳代	117	47.9	66.7	3.4	6.8	21.4	3.4	13.7	22.2	12.8	6.8	10.3	1.7	0.9	0.9
40歳代	157	41.4	61.8	5.7	12.1	17.8	3.2	13.4	24.8	16.6	8.9	9.6	3.2	4.5	—
50歳代	102	49.0	59.8	11.8	18.6	19.6	2.9	14.7	15.7	7.8	3.9	12.7	2.9	2.9	1.0
60歳代	141	30.5	28.4	23.4	20.6	15.6	3.5	10.6	17.0	17.0	5.0	11.3	5.7	5.0	2.1
70歳以上	143	16.8	9.8	30.1	53.1	11.9	3.5	5.6	4.9	9.8	6.3	11.2	5.6	7.0	1.4

【職業別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	きつかけや機会がない	仕事や家事、育児等で 時間がない	けがや病気、体調不良	体力の衰え	一緒にする仲間がいな い	指導者がいない	場所(施設等)が近く にない	お金がかかる	苦手・下手	嫌い、興味・関心がな い	他にやりたいことがあ る	その他	特に理由はない	無回答
就労している(パート・ アルバイト等含む)	405	45.2	65.4	7.2	11.1	21.5	3.5	14.6	21.2	13.6	7.2	12.6	2.5	2.2	0.5
学生	7	57.1	28.6	—	—	14.3	—	—	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	—
専業主婦(夫)	150	34.0	32.0	19.3	26.0	16.0	3.3	10.0	14.0	20.7	7.3	8.7	6.7	3.3	2.0
無職(定年退職含む)	148	19.6	5.4	29.7	47.3	10.8	3.4	7.4	10.1	10.8	5.4	10.1	6.1	8.8	1.4

【問2で月1回以上運動やスポーツをしていると回答した方にうかがいます。

問4 運動やスポーツを行っている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

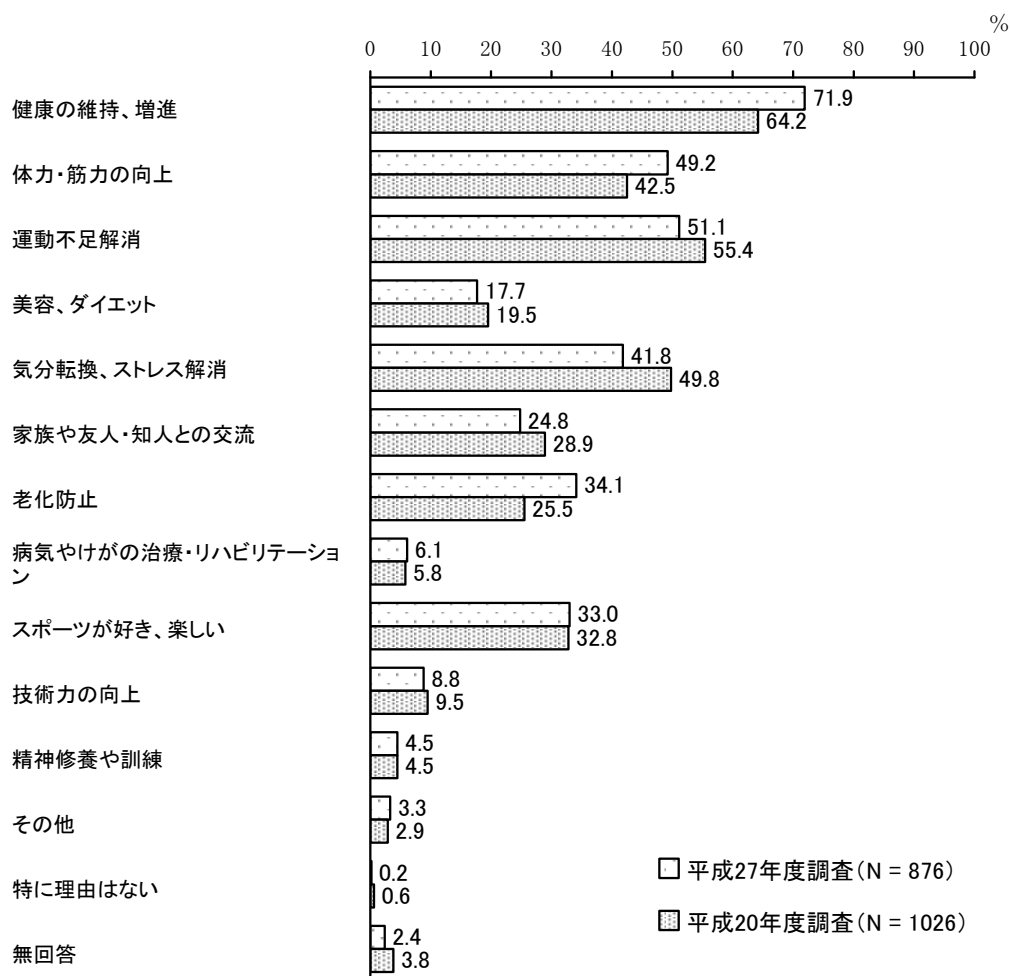
「健康の維持、増進」の割合が71.9%と最も高く、次いで「運動不足解消」の割合が51.1%、「体力・筋力の向上」の割合が49.2%となっています。

性別で見ると、女性に比べ男性で「スポーツが好き、楽しい」「技術力の向上」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「体力・筋力の向上」「運動不足解消」「美容、ダイエット」「老化防止」の割合が高くなっています。

平成20年度調査と比較すると、「健康の維持、増進」「体力・筋力の向上」「老化防止」の割合が高く、「気分転換、ストレス解消」の割合が低くなっています。

年代別で見ると、年代が高くなるにつれ「健康の維持、増進」「老化防止」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ30歳代で「家族や友人・知人との交流」の割合が高くなっています。

「その他」の意見としては、“仕事のため”、“子どもの健全育成のため”、“部活”といった内容の記述がみられます。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	健康の維持、増進	体力・筋力の向上	運動不足解消	美容、ダイエット	気分転換、ストレス解消	家族や友人・知人との交流	老化防止	病気やけがの治療・リハビリテーション	スポーツが好き、楽しい	技術力の向上	精神修養や訓練	その他	特に理由はない	無回答
男性	389	73.3	43.7	47.6	8.2	40.1	25.2	31.1	6.2	40.9	13.4	5.4	3.1	0.3	2.3
女性	482	71.0	53.5	54.1	25.3	43.4	24.7	36.9	5.8	26.6	5.0	3.7	3.3	0.2	2.5

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	健康の維持、増進	体力・筋力の向上	運動不足解消	美容、ダイエット	気分転換、ストレス解消	家族や友人・知人との交流	老化防止	病気やけがの治療・リハビリテーション	スポーツが好き、楽しい	技術力の向上	精神修養や訓練	その他	特に理由はない	無回答
20歳代	42	40.5	35.7	33.3	28.6	45.2	23.8	2.4	2.4	57.1	14.3	4.8	7.1	—	4.8
30歳代	79	53.2	51.9	54.4	29.1	57.0	29.1	7.6	3.8	38.0	10.1	6.3	3.8	—	—
40歳代	149	61.7	43.6	47.0	30.2	44.3	25.5	9.4	3.4	38.9	13.4	6.0	4.0	1.3	2.0
50歳代	112	78.6	58.0	59.8	26.8	49.1	22.3	32.1	8.0	40.2	5.4	6.3	1.8	—	—
60歳代	234	79.9	55.6	56.0	11.5	44.9	25.2	42.3	6.0	26.1	9.0	2.1	4.7	—	3.0
70歳以上	255	78.8	43.9	47.5	6.7	29.4	24.3	56.1	7.8	27.1	5.9	4.3	1.2	—	3.5

問5 現在行っている運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

「ウォーキング(散歩含む)」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「体操」の割合が 19.7%、「筋力トレーニング」の割合が 16.8%となっています。

平成 20 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

「その他」の意見としては、“スポーツジムでのマシンを使った運動”、“縄跳び”、“ストレッチ”といった内容の記述がみられます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ウォーキング(散歩含む)	ジョギング・マラソン	体操	ダンス・エアロビクス	社交ダンス・フラダンス	ヨガ・ピラティス	太極拳	筋力トレーニング	水泳	ボウリング	ゴルフ	野球
平成 27 年度調査	876	58.6	8.2	19.7	6.1	2.2	10.4	4.0	16.8	7.8	1.8	16.4	2.4
平成 20 年度調査	1026	58.1	6.6	18.1	5.5	1.9	7.8	3.4	13.2	10.5	2.9	18.9	3.7

区分	ソフトボール	ラグビーフットボール	サッカー	フットサル	陸上競技	バレーボール	ソフトバレーボール	バスケットボール	ハンドボール	テニス	ソフトテニス	バドミントン	卓球
平成 27 年度調査	2.3	0.2	1.5	2.1	0.1	1.6	0.3	0.8	0.7	4.8	0.6	2.1	1.7
平成 20 年度調査	4.0	0.4	2.5	1.8	0.1	1.5	0.6	1.1	0.3	6.3	1.1	2.9	2.5

区分	スキー、スノーボード	アイススケート	アイスホッケー	剣道	少林寺拳法	なぎなた	跆拳道(テコンドー)	柔道	空手道	弓道	相撲	ゲートボール	グラウンドゴルフ
平成 27 年度調査	3.8	0.6	—	0.3	0.3	—	—	0.1	0.3	0.2	—	0.5	3.3
平成 20 年度調査	6.8	0.2	—	0.5	0.2	0.1	—	—	0.3	0.2	0.1	0.5	2.5

区分	綱引き	釣り	カヌー	登山・ハイキング	自転車・サイクリング	キャンプなど野外活動	カローリング	サーフィン・ウインドサーフィン	スキューバダイビング・スキューバダイビング	ラインスケート	スケートボード・インラインスケート	乗馬	その他	無回答
平成 27 年度調査	—	3.3	0.1	16.1	5.8	2.4	0.3	0.3	0.6	—	0.2	6.8	1.5	
平成 20 年度調査	—	4.3	0.3	12.1	5.8	2.4	0.5	0.9	1.0	0.2	0.6	3.2	1.6	

問6 主にだれと運動やスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)

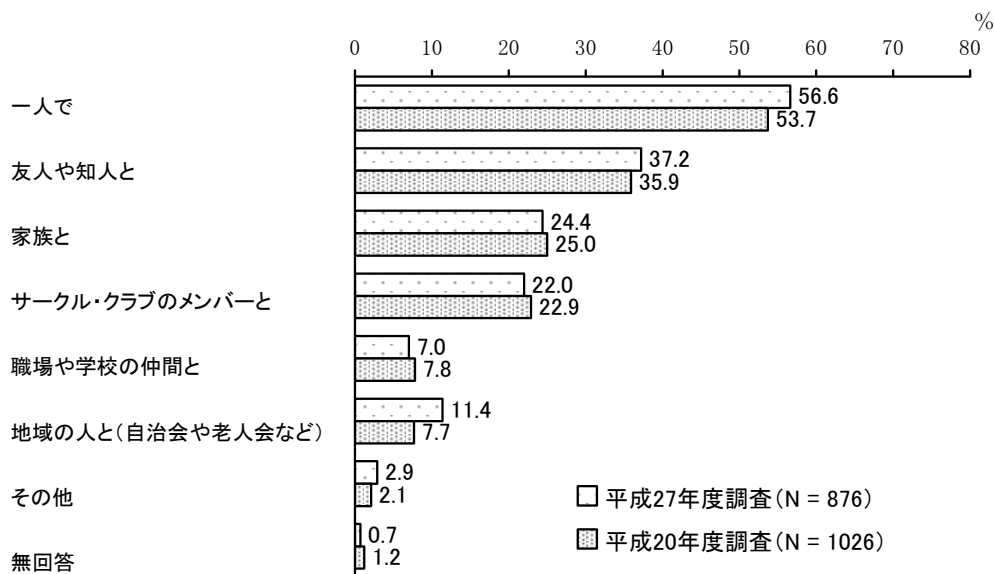
「一人で」の割合が56.6%と最も高く、次いで「友人や知人と」の割合が37.2%、「家族と」の割合が24.4%となっています。

平成20年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性別で見ると、女性に比べ男性で「一人で」「友人や知人と」「職場や学校の仲間と」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「サークル・クラブのメンバーと」の割合が高くなっています。

年代別で見ると、年代が低くなるにつれ「職場や学校の仲間と」の割合が高くなっています。また、他に比べ30歳代で「家族と」の割合が高くなっています。

「その他」の意見としては、“地域の子どもたちと”、“仕事先、取引先の人と”、“スポーツジムのメンバーと”といった内容の記述がみられます。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	一人で	友人や知人と	家族と	サークル・クラブのメンバーと	職場や学校の仲間と	地域の人と(自治会や老人会など)	その他	無回答
男性	389	61.7	40.4	26.5	17.7	13.4	13.1	2.1	0.8
女性	482	52.5	34.6	22.8	25.5	1.9	10.2	3.3	0.6

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	一人で	友人や知人と	家族と	サークル・クラブの メンバーと	職場や学校の仲間と	地域の人と (自治会や 老人会など)	その他	無回答
20 歳代	42	57.1	38.1	9.5	26.2	33.3	4.8	2.4	—
30 歳代	79	50.6	26.6	41.8	20.3	16.5	3.8	—	—
40 歳代	149	56.4	34.9	26.8	18.8	10.7	6.7	1.3	0.7
50 歳代	112	63.4	34.8	16.1	21.4	8.0	7.1	4.5	—
60 歳代	234	54.7	39.3	29.9	19.2	2.1	9.4	3.0	1.3
70 歳以上	255	57.3	40.8	18.8	26.7	1.6	21.6	3.5	0.8